

行政（一般方式）専門問題

令和 5 年施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は10題あります。そのうち3題を選択して解答してください。
3. 解答時間は2時間です。
4. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された注意をよく読んでください。
5. この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。
6. 係員による試験開始の指示の後、乱丁・落丁等がないことを確認した上で、解答を始めてください。

次の出題分野10題のうちから3題選択のこと

1. **憲法** 国政調査権について、意義、法的性質及び範囲を述べた上で、司法権、行政権及び基本的人権との関係における限界をそれぞれ説明せよ。
2. **行政法** 公の営造物の設置又は管理の瑕疵に対する国又は公共団体の賠償責任について、道路及び河川に関する判例を踏まえて説明せよ。
3. **民法** 表見代理について、無権代理との関係にも言及して説明せよ。
4. **経済学** ディマンドプル・インフレーション及びコストプッシュ・インフレーションについて、現在の経済状況にも言及し、AD-AS分析を用いて説明せよ。
5. **財政学** 予算について財政民主主義に言及した上で、完全性の原則、単一性の原則（統一性の原則）及び明瞭性の原則をそれぞれ説明せよ。
6. **政治学** 自由民主主義体制、全体主義体制及び権威主義体制について説明せよ。
7. **行政学** 日本における行政統制について、ギルバートのマトリックスを踏まえて説明せよ。
8. **社会学** 史的唯物論に基づく社会変動について、提唱された社会全体の変動が生じていない理由にも言及し、説明せよ。
9. **会計学** 企業会計原則における損益計算書原則について、損益計算書の区分にも言及して説明せよ。
10. **経営学** 職能別組織及び事業部制組織について、それぞれ説明せよ。